

## 臨床研究のお知らせ

研究課題名：

「PS 不良の晩期進行再発乳がん患者への抗がん剤治療が症状緩和効果および予後延長に与える影響に関する研究」

### 1.研究内容

進行再発乳がんの抗がん剤治療は、患者さんの苦痛症状の緩和や予後を延ばすことを目的に行われています。一方で、米国臨床腫瘍学会は患者さんの日常生活の制限の程度を示す Performance status (PS) が不良のがん患者さんに対しては、緩和ケアに重点を置くことを推奨しています。しかし、PS が不良の進行再発乳がん患者さんへの抗がん剤治療が、苦痛症状の緩和や予後を延ばすことについてはわかっていません。そこで、PS が不良となった段階で抗がん剤治療を行うことが、患者の苦痛症状の緩和や予後を延ばすか明らかにすることを目的に研究を行います。

### 2.対象

2009年1月1日から2013年12月31日までの期間中に、進行再発乳がんと診断され、PSが3以上の患者さんが対象となります。

### 3.研究の方法について

薬剤指導記録の情報をもとに、抗がん剤治療の実施が、患者さんの苦痛症状を緩和させ、予後の延長に関係するかについて調査します。ただし、氏名や住所のような個人が特定できる情報収集は行いません。

今回の研究で得られた調査結果は、学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、対象となる方の個人情報に関するものが公表されることは一切ありません。

2015年5月

愛知学院大学薬学部 臨床薬剤学講座

研究実施責任者 山村恵子

住所 〒464-8650 名古屋市千種区楠元町 1-100

電話 052-757-6766